

令和5年度 事業報告

1. 【社会福祉法人やちぐさ会全体】

■施設整備関連

◎5月 送迎車両マイクロバス・ササユリ号 石川日産にて車両修理完了

ワイパー修理及びエアコン修理・・・175,503円

◎6月 本館 避難用滑り台の改修

(鉄板穴あき補修9か所・追加工事及び塗装工事) 工事完了

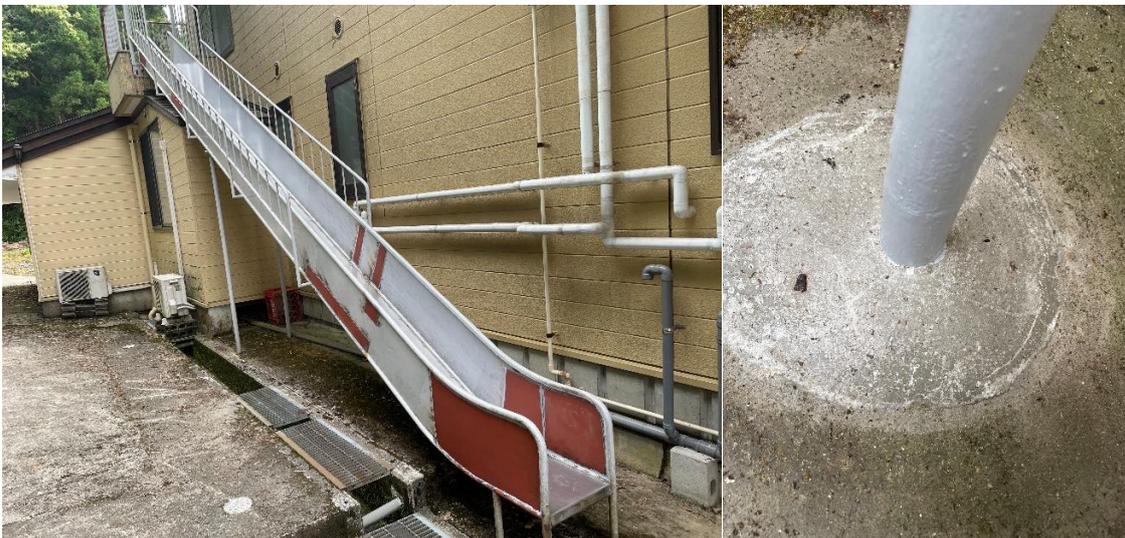
総事業費 318,450円

2社見積りを取り、すべり台の改修工事は昌永工業(株)に決定

○昌永工業(株) 見積金額(税込) 185,900円

中川建工 見積金額(税込) 217,250円

○追加工事(脚交換) 昌永工業(株) 33,000円(税込)



▲穴あき補修完了

▲脚の一部を交換

本館 避難用滑り台の塗装工事完了

○田中塗装 見積金額 (税込) 99,550円



▲錆止め塗装後 (内面・外面・底面裏・手すり・脚部・ステンレス部を除く)

◎令和5年度石川県障害者施設等省エネ投資事業費補助金を活用し、共同生活援助のやちぐさホーム・神宮寺ホームのエアコン各2台 (合計4台) を最新の省エネの基準を満たしたものに更新する。

総事業費	939,860円
石川県事業費補助金交付額	426,000円
(法人負担額	513,860円)

各ホームのエアコン取付から十数年経過し電力消費量が多いエアコンを省エネのものに入れ替えました。省エネ効果は4台で330,732円 (6年) を見込んでいます。

2社見積りを取り、ケーズデンキに決定

○ケーズデンキ・エアコン4台入替工事	(税込) 939,860円
100満ボルト・エアコン4台入替工事	(税込) 989,648円

8月18日 やちぐさホーム エアコン入替工事完了

・リビング	エアコン6.3KW (換気機能付き)	1台
・居室 (2階)	エアコン2.2kw	1台



▲リビング

・省エネエアコンに入替（換気機能付き）



▲居室・省エネエアコンに入替

8月19日 神宮寺ホーム エアコン入替工事完了

- ・リビング エアコン 6.3KW（換気機能付き） 1台
- ・世話人室（1階）エアコン 2.2kw 1台



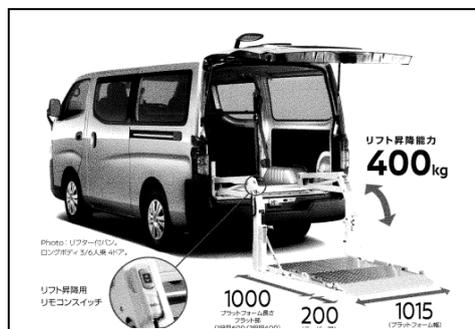
▲リビング

・省エネエアコンに入替（換気機能付き）



▲世話人室・省エネエアコンに入替

◎中央競馬馬主社会福祉財団による令和5年度社会福祉施設整備費等助成事業
(運搬車両の購入) が決定 (令和5年9月26日)



運搬車両について

- ・メーカー：日産自動車
- ・6人乗車リフター付き
- ・ハイルーフ使用
- ・人も荷物も両方運べる
- ・段差がないので台車のまま荷室へ入れる。
- ・全方位運転支援システム完備

見積合せを実施 (令和5年5月26日)

見積合せ点検票		
(助成事業実施計画申請時)		
見積合せ実施日	令和5年5月26日	
業者名	金額(税込)	備考
石川日産自動車販売(株)金沢中央店	※ 3,881,290円	採用
(株)日産プリンス金沢東大通り店	3,920,729円	
石川日産自動車販売(株)鞍月店	3,926,179円	

(購入先) : 見積合せの結果 最安見積3,881,290円を採用し
石川日産自動車販売(株)金沢中央店に決定する。

総事業費 3,881,290円

助成額 2,200,000円

法人負担額 1,681,290円

(契約について)

: 当会理事会において、中央競馬馬主社会福祉財団による令和5年度社会福祉施設整備費等助成事業(運搬車両の購入)が決定したことを報告し理事会の

承認を受けたのち、随意契約により石川日産自動車販売（株）金沢中央店と契約を締結する。(契約金額) 3, 881, 290円

納車日：令和6年2月27日

◎令和4年度 石川県福祉施設等省エネ投資緊急支援事業費補助金
(太陽光発電システムの設置工事) の進捗状況について

省エネ補助金の計画では、菓子工房の屋根とやちぐさ本館の屋根に太陽光発電システム(出力4.14kw)を設置予定となっています。申請認可の関係で設置工事が遅れていましたが、12月3日には設置工事は完了の予定となっています。設置後の発電時期については、電力会社との接続が完了後となるようです。

総事業費	2, 200, 000円
助成額	994, 000円
<u>法人負担額</u>	<u>1, 206, 000円</u>

◎11月16日 国より内示を受け金沢市へ令和5年度障害福祉分野のICT導入補助金の申請をおこないました。



- ・ICT機器「インカム」を導入し、業務の効率化及び職員の業務負担軽減を推進する。

総事業費	1, 100, 000円 (2社見積比較で北陸電子株式会社採用)
市補助金	750, 000円
法人負担	350, 000円

◎1月9日 令和5年度石川県福祉施設等省エネ投資緊急支援事業費補助金426,000円が石川県より入金される。

神宮寺ホーム 省エネエアコン2基の入替工事をおこなう

やちぐさホーム 省エネエアコン2基の入替工事をおこなう

(総事業費939,860円)

◎1月18日 ICT機器(機器設定および現地設置調整工事含む)が納入される。 市補助金750,000円については、4月12日入金済

◎1月31日 令和4年度石川県福祉施設等省エネ投資緊急支援事業費補助金994,000円が石川県より入金される。

ソーラー発電パネル(4KW)2基 設置完了

総事業費 2,200,000円



◎2月8日 やちぐさ本館・菓子工房の地震による各所改修の見積りを依頼
(ハザマ住建)

改修見積(税込み)293,700円・・・令和6年度依頼の予定

◎2月27日 やちぐさグループホームの給湯設備「エコキュート」が経年劣化により故障し入替工事をおこなう



3社見積により、株式会社ハザマ住建に工事を依頼する。

- ・株式会社ハザマ住建 税込金額445,500円・・・「採用」
- ・有限会社アスワンホーム 税込金額566,500円
- ・三菱電機システムサービス株式会社 税込金額643,000円

◎2月27日 公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団の助成を受けて日産キャラバン・作業用運搬車両（リフター付きバン）を整備する。
(総事業費3,881,290円)



◎3月7日 公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団より運搬車両整備（総事業費3,881,290円）にかかる補助金2,200,000円が入金される。

■施設事業所運営

◎利用者の入退所について

4月1日に入所式があり、就労継続支援B型事業所「やちぐさ作業所」に寺田怜史さん、生活介護事業所「あじさい」に松田佳菜子さんが新たにやちぐさ利用者の仲間となりました。就労継続支援B型事業所「やちぐさ作業所」現員26名、生活介護事業所「あじさい」現員17名 利用者合計は43名となりました。

◎職員の採用・退職状況

採用 6月1日 橘 美代子 (南御所ホーム・世話人 パート)

6月1日 丹保 美知子 (南御所ホーム・世話人 パート)

◎5月25日 白山市・知的障害者施設「青い鳥」利用者・職員15名が グラウンドゴルフ体験のため、やちぐさを来所される。(施設開放)



◎8月15日 石川県物価高騰対策支援事業の支給決定を受ける

石川県が光熱費、食糧費等の価格高騰により事業所では厳しい状況が続いている医療機関・福祉施設等に対し一時金を支給し支援をするものです。電気やガス等の負担が大きくなっている中での支援金支給は、各事業所の運営経費の軽減となり大変助かるものであります。

南御所ホーム	120,000円	
やちぐさホーム	60,000円	
神宮寺ホーム	60,000円	
多機能型事業所やちぐさ	100,000円	
やちぐさ短期入所事業所	15,000円	
相談支援事業所やちぐさ	50,000円	(総額405,000円)

◎8月16日 送迎車両マイクロバス2台にドライブレコーダー
(360度録画)を取り付ける。総事業費(税込み)91,000円

効果とねらい： 導入効果としては、送迎を担当する職員の安全運転意識の向上と不測の交通事故・走行トラブル時に、状況証拠を記録保存することができる。また、走行中には運転手や利用者の様子も記録され、何かあった時には録画保存された映像を確認できる。

◎新型コロナウイルスの対応取り組み

国からの事務連絡を参考にやちぐさ会全体で新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をおこないました。

- ① マスクの着用・手洗いの徹底・アルコール消毒(手指・手すりやドアノブなどの共有物)の実施
- ② 利用者の健康状態の把握と変化の有無(出勤時・日中・帰宅前)【6月末まで】
- ③ 利用者の出勤前・作業中・帰宅前検温の記録及び職員の出勤前検温の実施と記録【6月末まで】

面会者および業者の来訪記録(日時・連絡先)【6月末まで】

- ④ 3つの密(換気の悪い密閉空間・多数が集まる密集場所・間近で会話や発声をする密接場面)を避ける
 - ・全体朝礼を分散して開催しました。・エアロビクス中止
 - ・食事の密を避けるため、食事の時間帯3つに分けて作業班別に食事を摂っていただくようにしました。
 - ・作業場では空気の入替えのため定期的に換気をおこないました。
- ⑤ 施設による感染拡大を防止するため、石川県高齢者施設等従事者の検査事業を活用して、施設に従事する職員の抗原検査を積極的におこないました。4月から6月までの抗原検査延べ回数は544回となりました。

抗原検査実施状況(R5.4~R5.6)

報告	やちぐさGH	神宮寺GH	やちぐさ	南御所GH	小計
4月10日	10	8	30	3	51
4月17日	10	2	32	7	51
4月24日	10	4	32	6	52
5月1日	10	2	22	2	36
5月8日	10	3	28	3	44
5月15日	10	4	26	7	47
5月22日	10	2	27	4	43
5月29日	10	3	30	6	49
6月5日	10	3	27	4	44
6月12日	10	4	28	4	46
6月19日	5	4	24	5	38
6月26日	10	2	28	3	43
合計	115	41	334	54	544

7月以降は、新型コロナウイルスの感染が疑われる症状が見られる場合のみ、抗原検査をおこないました。

◎7月中旬～8月上旬にかけて新型コロナウイルスに感染

7月19日 やちぐさグループホーム 男性職員1名 コロナ陽性と判明

7月21日 多機能型事業所やちぐさ B型女性利用者1名 コロナ陽性と判明

8月3日 多機能型事業所やちぐさ

B型女性利用者1名 コロナ陽性と判明（他法人が運営するグループホームに入所されており、入所先で新型コロナウイルスに感染する。）

8月7日 多機能型事業所やちぐさ 生活介護 女性利用者1名 コロナ陽性と判明

感染者に対しては、隔離・自宅療養・施設等のアルコール消毒の実施・感染対策の各種取り組みをおこない、結果的にはクラスターまでにはならず収まった。

◎8月23日 令和5年度第1回虐待防止委員会・身体拘束適正化検討委員会が開催される

参加者5名：浅田所長・浅田次長・古川事務長・

橋田生活介護主任・松村就労継続支援B型主任

議題①「障害者虐待防止伝達研修について」（伝達研修を7月5日、6日、8日に実施）

・全職員を対象にした研修はどうだったか

石川県でも先期39件認定。増えてきている。職員の全員を対象としたのはよかったと思う。

グレーゾーンというか、微妙なラインについて、分かりやすく説明してほしい。

グレーゾーンについては何回も研修を重ねて、ディスカッションを重ねることで、やちぐさ内での共通認識を作り、勉強していくしかないのではないかと。

作業所・グループホームと研修して回ったが、全員意欲的だったと思う。

研修にもっと長い時間をかければよかったとも思うが、ホームなどはシフトがあつて、時間が限られており、この位でよいかと思っている。

委員会やチェックリストが出来て、確実によくなってきていると思う。

議題②「職員セルフチェックリストの集計結果報告」

障害者虐待防止チェックリスト（令和5年7月）

（職員各自が記入し集計→委員会報告・対応の検討→従業員へ周知）

職員セルフチェックリスト

社会福祉法人やちぐさ会 職員によるセルフチェック 集計結果（28名回答）

「チェック項目」	はい	いいえ	現状や今後の対応について
1. 利用者への対応、受答え、挨拶等は丁寧に行うよう日々、心がけている。	25	3	概ね出来ていた。
2. 利用者の人格を尊重し、接し方や呼称に配慮している。	26	2	利用者の方への呼称については4名→2名と改善された。昨年度の研修成果が見られる。
3. 利用者への説明はわかり易い言葉で丁寧に行い、威圧的な態度、命令口調にならないようにしている。	26	2	概ね出来ていた。
4. 職務上知りえた利用者の個人情報については、慎重な取扱いに留意している。	27	1	概ね出来ていた。
5. 利用者の同意を事前に得ることなく、郵便物の開封、所持品の確認、見学者等の居室への立ち入り等を行わないようにしている。	25	3	できるだけ、利用者に説明・同意を得るように対応をお願いします。

6. 利用者の意見、訴えに対し、無視や否定的な態度をとらないようにしている。	24	4	1名→4名と増加した。利用者には丁寧な対応をお願いします。
7. 利用者を長時間待たせたりしないようにしている。	27	1	概ね出来ていた。
8. 利用者の嫌がることを強要すること、また、嫌悪感を抱かせるような支援、訓練等を行わないようにしている。	27	1	概ね出来ていた。
9. 危険回避のための行動上の制限が予想される事項については、事前に本人、家族に説明し同意を得るとともに、方法を検討し実施にあたっては複数の職員によるチームアプローチをとっている。	25	2 無回答 1	概ね出来ていた。
10. 利用者に対するサービス提供に関わる記録書類（ケース記録等）について、対応に困難が生じた事柄や不適切と思われる対応をやむを得ず行った場合等の状況も適切に記入している。	24	3 無回答 1	概ね出来ていた。

11.ある特定の利用者に対して、ぞんざいな態度・受答えをしてしまうことがある。	4	24	引き続き、利用者への支援では丁寧な対応ができるよう研修の機会を設けていく。
12.ある特定の職員に対して、ぞんざいな態度・受答えをしてしまうことがある。	0	28	問題なし。
13.他の職員のサービス提供や利用者への対応について問題があると感じることがある。	5	23	支援についての共通認識を高めるための研修（内部研修）を実施していく。
14.上司と日々のサービス提供に関わる相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。	17	11	気軽に相談等ができるように改善していく。
15.職員と日々のサービス提供に関わる相談を含め、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。	25	3	概ね出来ていた。

16.他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面にでくわしたことがある。	1	27	問題なし。
17.他の職員が、利用者に対してあなたが虐待と思われる行為を行っている場面を確認したこと（注意できなかったこと）がある。	3	25	見過ごす事がないよう、適切な対応がとられるよう研修していく。
18.最近、特に利用者へのサービス提供に関する悩みを持ち続けている。	8	20	職員間で連絡・相談を活発化し、悩みの解消・軽減を図っていく。
19.最近、特に仕事にやる気を感じないことがある。	6	22	悩み事や困りごとなどがなく、職員全体で気にかけて見守っていく。
20.最近、特に体調がすぐれないと感じることがある。	5	25	健康診断の結果や体調面に不安がある方には医療機関への受診を積極的に声掛けする。

・古川より項目ごとの結果を報告し現状を確認する。

チェック項目2番について、呼称（さん付け）について、前回よりも改善してきている。

チェック項目5番について、できるだけ説明するようにしていく。

チェック項目6番、11番について、否定的な回答が増加した。利用者への態度には気を付けて行く。

チェック項目13番について、内部研修を通じて共通認識を深めて行く。

チェック項目14番について、改善して行く必要がある。

職員会での食事会等、お話の場を増やすことはできないか？昔はボーリング大会、スキー大

会があった。

チェック項目16番、17番について、はいの人数が少なくても、該当者がいることが問題だ。内部研修を通して意識を高めて行く。

チェック項目18番について、はいの人数が多い。話せる場があるとすっきりするのではないか？朝礼意外にも話す場が必要かもしれない。ホームはシフトがあり集合することがないので相談できないでいるのではないか？

チェック項目14番とも関係している。

突発的な問題行動があり状況を説明することも難しい。水曜日のスタッフ会議で問題を上げる人と上げない人がいる。順番制にして各自に支援の悩みを上げてもらうようにするか？

職員会議は昔年2回実施していた。今は年1回（3月）となっている。

議題③「身体拘束についての研修について」

・身体拘束に関する所内研修を9月13日に実施する。その後グループホームでも実施する。

◎9月20日から10月1日にかけて、多機能型事業所やちぐさにて新型コロナウイルスのクラスターが発生（利用者等お休みにより98万円減収となる） （利用者13名・グループホーム職員1名計14名がコロナ感染）

- 9/20 女性利用者1名（B型） コロナ感染（高熱・のど痛みあり）
- 9/24 男性利用者1名（生活介護） コロナ感染（熱あり）
- 9/25 女性利用者4名（B型3名・生活介護1名） コロナ感染（熱・のど痛みあり）
- 9/26 女性利用者2名（B型1名・生活介護1名） コロナ感染（熱・のど痛みあり）
- 9/27 女性利用者1名（生活介護） コロナ感染（のどのかすれみあり）
- 9/29 男性利用者2名（B型1名・生活介護1名） コロナ感染（高熱・吐き気あり）
- 10/1 男性利用者1名（生活介護） コロナ感染（熱あり）
- 10/1 女性利用者1名（生活介護） コロナ感染（のど異常あり）
- 10/1 グループホーム職員1名 コロナ感染（発熱・のど異常あり）

多機能型事業所やちぐさでは、新型コロナウイルスのクラスターが発生し10月10日には自宅療養者がゼロとなり新型コロナウイルスの感染拡大が収束しました。その間に講じた感染対策として、健康管理の徹底（発熱の有無・マスクの着用・手指消毒）・送迎バス車内のアルコール消毒および建物内のアルコール噴霧と拭き取り掃除を実施しました。

また、自宅療養者には7日目8日目に抗体検査を実施できるようキットを自宅まで郵送し2回連続陰性を確認してマスクを着用して出勤いただきました。

◎1月1日 16時 能登半島地震（震度5強）が発生する。

【グループホーム】

発生直後、グループホームの利用者の安否・建物被害の有無を確認。利用者にケガ人はなく、建物や設備に大きな損壊等がないことが確認された。神宮寺ホームでは、揺れのためスプリンクラータンクにエラー表示が出ましたが世話人の方でエラーを解除し正常復帰しました。

【多機能型事業所やちぐさ】

本館では柵が倒れP Cモニター1台が故障。室内壁のクロスのひび割れ、男子トイレのタイル損傷・押入れの天井破損・作業場の照明が外れる・作業場の床の一部が盛り上がる・作業場のモルタル床の一部がひび割れる・天井に隙間ができる（複数あり）

菓子工房では洗面台・洋式トイレの配管から少量の水漏れあり。



◎1月31日 ・令和5年度・第2回石川県物価高騰対策支援金
(275,000円が石川県より入金される)

内訳：多機能型事業所やちぐさ	70,000円
相談支援事業所やちぐさ	50,000円
神宮寺ホーム	40,000円
南御所ホーム	80,000円
やちぐさホーム	40,000円
短期入所事業所やちぐさ	10,000円

◎2月2日 純益確保のため恵方巻を販売
(94本84,600円売上)

◎金沢市夏季光熱費補助金(4月～10月分)
550,000円が金沢市より入金される。

内訳：多機能型事業所やちぐさ	100,000円
相談支援事業所やちぐさ	30,000円
グループホーム(3ホーム)	380,000円
短期入所事業所やちぐさ	40,000円

◎2月5日 コープ神戸(生協)向けスポット販売で
レーズンパサン100G(12袋)245ケースを出荷
コープ店舗での販売は好評で、一般客からのお問い合わせの電話が数多く寄せられました。

◎2月中旬 (2/16～2/20)に新型コロナウイルス感染症が発生
利用者B型1名、生活介護3名・スタッフ1名合計5名が新型コロナウイルス感染症となる。(クラスターが発生)

◎3月2日 スタッフ会議

- ・次年度事業計画として、職務分掌の確認、次年度事業計画、工賃見込、利用者担当、利用者の個別対応、月予定、週予定、1日の予定、クラブ活動の内容等について協議しました。
- ・福祉の職場認定制度の取り組み内容の評価と検証をおこないました。

◎ 3月上旬（3/4～3/5）に新型コロナウイルス感染症が発生

利用者2名（B型1名、生活介護1名）が新型コロナウイルス感染症となる。

（クラスターの発生にはならずそのまま収束）

◎ 3月下旬（3/22～3/25）に新型コロナウイルス感染症が発生

利用者5名（B型3名、生活介護2名）が新型コロナウイルス感染症となる。

（クラスターが発生）

◎新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業の補助金交付が決定（補助額 277,000円 5/10入金済）

令和4年度

生活介護 5,000円 B型 9,000円 共同生活援助 153,000円 計 167,000円

令和5年度

生活介護 7,000円 B型 7,000円 共同生活援助 96,000円 計 110,000円

（補助金合計 277,000円）

◎ 3月31日 金沢市冬季光熱費補助金 620,000円の交付が決定する。

■ その他

◎ 9月9日 やちぐさグラウンドゴルフ場を地域に開放する。（施設開放）

天候にも恵まれ地域より総勢27名の方がUGC月例会に参加されました。変化に富んだコース設定が好評で大変喜ばれました。おもしろいコースなのでまたプレーさせてほしいという声を多くいただきました。



◎ 11月12日 金沢大学附属特別支援学校の学習発表会バザーで焼菓子販売をおこないました。多機能型事業所やちぐさのPRとなりました。

◎ 1 2 月 4 日 JA 金沢市女性部によるもち米贈呈式

2. 【役員会等の開催状況】

●令和5年5月27日 理事会の開催

第1号議案 令和4年度事業報告について

- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度行事報告
- ・令和4年度役員会議・研修等出席状況
- ・令和4年度職員研修・会議等出席状況

第2号議案 令和4年度決算報告について

- ・計算書類
- ・計算書類に対する注記
- ・附属明細書
- ・(社福)やちぐさ会 財産目録
- ・社会福祉充実残額算定シート
- ・監事監査報告書

第3号議案 経理規程の一部改正について

第4号議案 役員等賠償責任保険契約の内容の決議について

第5号議案 苦情解決、第3者委員の選任について

第6号議案 令和5年度の理事・監事候補者案について

第7号議案 定時評議員会の開催日時、議題案について

●令和5年6月17日 定時評議員会

第1号議案 令和4年度計算書類及び財産目録の承認について

- ・計算書類
- ・計算書類に対する注記
- ・附属明細書
- ・(社福)やちぐさ会 財産目録
- ・社会福祉充実残額算定シート
- ・監事監査報告書

第2号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任について

●令和5年6月17日 理事会の開催

第1号議案 理事長の任期満了に伴う改選について

第2号議案 経理規程の一部改正について

●令和5年12月2日 理事会の開催

第1号議案 令和5年度補正予算について

第2号議案 指定共同生活援助事業運営規程の一部改正について

●令和6年3月23日 理事会の開催

- 第1号議案 令和5年度補正予算について
- 第2号議案 令和6年度事業計画について
- 第3号議案 令和6年度収支予算について
- 第4号議案 経理規程の一部改正について
- 第5号議案 役員等賠償責任保険契約の内容の決議について
- 第6号議案 処遇改善手当等支給規程の一部改正について

3. 【各施設・事業所報告】

◎多機能型事業所やちぐさ

1. 就労継続支援B型事業について

「就労継続支援B型事業」では、令和4年度も少しでも多くの工賃を支給できるようそれぞれの利用者の作業に対する希望や工賃目標に応じた個別支援計画を策定し、それぞれの利用者が作業能力を発揮し、自分に「自信」が持てる、仕事をする喜びを「実感」することができる支援に努めてきました。新型コロナウイルスの感染では、7月2名 9月6名 2月1名 3月3名 計12名が感染されました。感染対策を講じながら利用者の支援にあたりました。発熱があるときには、抗原検査キットを積極的に活用するなど感染拡大の防止に努めました。

作業の方ではねじ締め作業が思うように入っていない状況にあり、オハラ・野村製作所等の内職を確保し頑張った結果、何とかねじ締め並みの純益を確保しました。

さらに焼菓子の方ではスポットの大口注文に応えるなど積極的な販売の効果もあってB型全体の純益を大きく押し上げることができました。

令和5年度のB型純益は8,042,000円を確保し、B型の利用者の令和5年度平均工賃の実績額は27,692円となった。(前年度比5,630円増)

2. 生活介護事業について

生活介護ではそれぞれの利用者の障害・病気に最大限配慮した支援のため、毎月一度看護師が生活介護の利用者全員と面談して健康管理をおこないました。

健康管理では、利用者本人への問診や健康チェックを実施し、担当スタッフから1カ月の状況報告や医療的な相談をおこない、看護師の立場で健康面や衛生面についてアドバイスをもらっています。

利用者の状況に合わせたきめ細かな介護・支援をおこなってきました。今年の夏は酷暑で、例年以上の暑さを記録しました。行政からは熱中症警戒アラートが毎日のように発令され、健康観察・水分補給・室温管理等できる限りの配慮をおこなって利用者の支援にあたりました。利用者の方にとって快適な作業環境を整えて軽作業・室内運動・各種創作活動に取り組んでいただきました。新型コロナウイルスの感染では9月5名 10月2名 2月3名 3月2名 計12名が感染されました。感染対策を講じながら利用者の支援にあ

りました。発熱があるときには、抗原検査キットを積極的に活用するなど感染拡大の防止に努めました。生活介護利用者の令和5年度平均工賃の実績額は7,076円となりました。(前年度比1,800円増)

利用者の在籍状況 : 令和6年3月末現在

(多機能型事業所やちぐさ 就労継続支援B型26名・生活介護17名 合計43名)

- (1) 入所者 2名
- (2) 退所者 0名
- (3) 在籍 43名 (男性21名 女性22名)

事業名	人数	男性	女性	手帳A	手帳B
就労継続支援B型	26人	14人	12人	9人	17人
生活介護	17人	7人	10人	14人	3人
合計	43人	21人	22人	23人	20人

3. 共同生活援助事業 (グループホーム)

神宮寺ホーム・やちぐさホーム・南御所ホーム

(法人でグループホーム3か所運営)

利用者については、新たに令和5年9月福岡牧子さんが南御所ホームに入所されました。

令和6年3月31日現在、共同生活援助(グループホーム)利用者の入所状況としては、神宮寺ホーム女性4名、やちぐさホーム男性3名・女性1名計4名、南御所ホーム男性3名・女性5名計8名、3ホーム全体では、合計16名の利用者の入所となっています。(満床となっています。欠員なし)

新型コロナウイルス感染症が5月に5類移行となりましたが、7月以降、新型コロナウイルスの感染もありました。やちぐさホームでは7月にスタッフ1名、利用者1名が感染。南御所ホームでは9月に利用者3名、10月に利用者1名、2月に利用者1名が感染。神宮寺ホームでは9月に利用者3名、10月にスタッフ1名が感染しました。感染者の累計(7月～2月まで)はスタッフ・利用者を含め11名となりました。

ホームに入所される利用者には「安心する・ホットする・楽しい生活の場」として、落ち着いて生活ができるよう、世話人を中心にサービス管理責任者、バックアップ施設職員からの協力を得ながら、入居する利用者に対しきめ細かな支援を行ってきました。

利用者の入所状況 : 令和6年3月末現在

・神宮寺ホーム (定員4名)

入所者 4名 (男性0名 女性4名)

障害程度区分6 : 1名

障害程度区分5 : 2名

障害程度区分4：0名

障害程度区分3：1名

・やちぐさホーム（定員4名）

入所者 4名（男性3名 女性1名）

障害程度区分5：1名

障害程度区分4：2名

障害程度区分3：1名

・南御所ホーム（定員8名）

入所者 8名（男性3名 女性5名）

障害程度区分5：3名

障害程度区分4：5名

4. 短期入所事業 やちぐさ短期入所事業所（定員1名）

短期入所事業所やちぐさでは、5月の新型コロナウイルス感染症5類移行後も新型コロナウイルスの感染状況が良くならないため、新規の受入れはありませんでした。

地域に住まわれるお困りの方については、しっかりとニーズにお応えすることができるよう、短期入所事業所やちぐさは世話人や生活支援員の支援技術の向上を図り安心して受け入れができる体制を整えていきます。現状、夜間支援の体制が宿直体制となっており重度の支援が必要な方の受け入れが困難となっています。今後必要な方（利用見込みの可能性が高い方）については、緊急時に入所施設の短期入所が利用できるよう相談支援事業所やちぐさと連携してしっかりと他施設へつなげていけるように対応していきます。

5. 相談支援事業 相談支援事業所やちぐさ（特定相談・障害児相談）

基本相談支援では、障害者や障害児からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等のほか、必要な便宜を供与する支援を行ってきました。

年々、保護者の高齢化が進んでおり、行政提出書類等の書き方のアドバイスや親から兄弟姉妹へ保護者の役割をお願いするなどの対応をおこなっています。

計画相談をおこなう中では、ご本人やご家庭の状況変化などで問題点が表面化することもありました。個々のケースに応じて必要な支援が受けられるよう相談支援事業所やちぐさとして、でき得る限りの支援をおこないました。

計画相談支援では、障害者や障害児が障害福祉サービスを利用する際に、サービス等利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う等の支援をしてきました。計画作成に当たっては、ご家庭の状況を確認すると支援者の高齢化によりご家族による支援が難しくなっている方が増えてきました。

利用者本人やそれぞれのご家庭状況および支援されるご家族の希望に応じて必要とするサービス（移動支援・日中一時支援・短期入所・居宅介護・放課後デイサービス・通院等介

助・共同生活援助) がきちんと利用できるよう支援をおこないました。必要に応じて、医療機関や行政との連携会議を開催することもありました。

緊急時の対応

今後はご家族の入院等による緊急時の対応として、当法人が運営する短期入所の利用又は他法人の入所施設系の短期入所のご利用をおすすめする対応をとっていきます。

かなざわ安心プランの導入

令和2年10月からサービス等利用計画・障害児支援利用計画の日々の暮らしを支える支援に加え、親亡き後や将来を見据えたMyライフプランや、災害時や緊急時等(地震や大雪などの広範囲で起こること、台風や水害のように限られた範囲で起こること、世界的な感染症の流行、身近な家族の急病等による不在など)を想定したクライシスプランも加えた、「かなざわ安心プラン」を導入しました。漠然としていたという方も多かった将来についてご家庭やご利用者本人が意識する良いきっかけとなりました。

4.【事業種別利用状況】：令和5年4月～令和6年3月

●多機能型事業所やちぐさ 全体 利用率 101.9%

(事業収入) 98,077,712円 (前年度比 103.3%)

就労継続支援B型(現利用人員:26名/定員24名)

延べ利用者数:実績6,534人/定員6,480人 利用率100.8%

生活介護(現利用人員:17名/定員14名)

延べ利用者数:実績3,910人/定員3,766人 利用率103.8%

●神宮寺ホーム (やちぐさホーム・神宮寺ホーム・南御所ホーム)

(事業収入) 46,537,628円 (前年度比 103.7%)

共同生活援助(現利用人員:16名/定員16名)

延べ利用者数:実績5,091人/定員5,840人 全体利用率86.9%

●短期入所やちぐさ(定員1名)

(事業収入) 610,189円 (前年度比 115.8%)

延べ利用者数:実績106人/定員365人 利用率29%

●相談支援事業所やちぐさ

(事業収入) 2,683,521円 (前年度比 105.3%)

計画相談145名 児童25名 延べ利用者数:170名 昨年比3人増